

令和5年度 男女共同参画講演会 11月18日(土)

好きな「ものづくり」が生業になりました

○内容

自らの意志によって職業生活を営む女性のロールモデルとして、コギンザシスト工藤夕子氏に講演いただいた。

※参加者 36名

○講演会の様子



○作家さんとのコラボ作品展示の様子



○展示を見学している様子



感想(アンケートから一部抜粋)

- ・地元で素敵な作家さんがいて、その方のお話が聞けて良かったです。
- ・バイタリティが凄いなと思いました。あと、声をたくさんかけてもらったということが印象的でした。出会いに恵まれるなあと。好きな「ものづくり」からブレない姿勢が出会いや運の良さを引き寄せているんだろうなと感じました。見習いたいところです。市の発展のためにも、もっとこういう方がいることを市の方でも紹介、アピール、宣伝して市民のやる気を啓発していくのもありかなと感じました。
- ・女性の社会参画の一例となる講演でした。男性目線からでの意見になりますが、今回の例でもまた男女の分業意識が残っているような気がします。女性＝子育て、家庭の強いイメージが女性の社会進出を妨げているのが講演を聞いてもわかります。育児への公共支援が増える程に女性が社会へまた羽ばたいていけるのではと思います。
- ・お話の中で、フランスは夫婦や孫と祖父母でワークショップに参加するとのことで、日本はまだまだ違うなと思いました。今日も参加者は女性だけでしたね。何かをやるように背中を押すような人間が増えれば、性差や年齢差もなく平等になるのかなと思います。そのためには、人の話を聞こうとする各々の気持ちの余裕(金銭面？時間？考え方?)をどう持てればいいのか悩みます。